

千代田支部ニュース

「変革のコアとなる、絆と連携をもとに」

<http://www.chiyoda-p.com/> 東京都印刷工業組合千代田支部 発行人 山本久喜 編集人 齋田精一

第 1 回千代田支部研修会 富士ゼロックス お客様価値創造センター見学



▲ 講師の杉田晴紀氏

平成 25 年度、最初の研修会が 7 月 24 日(水)、横浜みなとみらいセンタービルにある富士ゼロックス お客様価値創造センターにおいて開催された。支部員及び社員 30 名が千代田支部前より午後 1 時 40 分に大型バスで出発し、小雨がぱらつく中、3 時前に現地に到着する。始めにみなとみらいビル 4F にある会議室に集合し、山本千代田支部長挨拶の後、富士ゼロックス 鳥海浩二グループ長より当日のスケジュール及びガイダンスを拝聴し、次にプロダクションサービス営業本部 マーケティング部長 杉田晴紀氏の講演となった。
(以下要約)



機能強化した「お客様価値創造センター」

富士ゼロックスでは「お客様価値創造センター」の機能を強化し、「スマートクリエイションラボラトリー」を新たに開設するとともに、「地域コミュニティ活性化」をテーマとしたゾーンを新設し、本年 2 月 4 日に公開した。



『お客様価値創造センター』では、企業全体のマーケティング・コミュニケーション課題を、顧客とともに検索・共有し、具体的な解決策を提案することで、顧客のマーケティング ROI 向上に貢献してきました。

これまでに、約 3500 社、1 万人の顧客が同センターを利用している。その中で、利用者から『コンテンツの制作・運用管理』および『共感や絆を生み出すコンテンツ』の重要性が高まってきたことに対応するため、今回、同センターの機能をさらに強化した。」

新設した「スマートクリエイションラボラトリー」では、動画や音声が含まれたリッチコンテンツのデザインやプロモーション機能を強化し、画像データなどのコンテンツを効率よく効果的にエンドユーザーに伝える手段や、EC サ



▲ 4 班に分かれてテーマごとの説明を受ける

イトや CRM プロモーションで利活用する方法を体感できるスペースを用意した。ネットスーパーやバーチャルストアといった新たな販売形態におけるマーケティングコミュニケーションを支えるさまざまなサービスの提案と次世代流通を支えるコンテンツ関連技術の展示などを行い、顧客の課題をワンストップで解決することを目指す。具体的には「Contents Studio」「技術開発スペース」「共振スペース」「Design&Creation」の 4 つのスペースで構成され、商品画像の撮影や、画像コンテンツの編集、加工、デザイン、技術開発など一連の作業を体感することができる。最後に、近未来をイメージした「共振スペース」で、顧客と課題を共有し、アイデアを形にしていく。同ラボには、専門のデザイナーやエンジニアが常駐しており、顧客とオープンなコラボレーションを行いながら、最適なコミュニケーション環境の実現を支援する。

一方、「地域コミュニティ活性ブース」では、同社と顧客だけでなく、顧客と顧客を結びつける新たな価値提供のスキーム作りを提案する。具体的には、イベント情報などの地域ごとのローカルコンテンツを保有している顧客と、タウン誌などの地域に、密着した情報発信手段をもつ顧客を結びつけ、新規ビジネスの創造や地域振興及び復興を支援していく。



紙とマルチメディアを融合するクラウドサービス

富士ゼロックスでは、2011 年からオフィスのコミュニケーションにかかわる業務の効率化を支援する「SkyDesk サービス」を提供している。今回、スマートフォンの急速な普及に伴い、企業における動画活用が増加しているとともに、動画の視聴環境も整ってきたことを背景に、「SkyDesk サービス」の提供範囲を拡大。新サービスとして「SkyDesk Media Switch」を提供する。



「SkyDesk Media Switch」は、スマートフォンで印刷物を撮影すると、その画像に紐付けられた動画や Web などのマルチメディアをスマートフォン上に配信できるしきみを提供するクラウドサービス。印刷物の撮影画像とマルチメディアを紐付ける技術には、同社米国関連会社の FX Palo Alto Laboratory 社が研究・開発した類似画像検索技術「EMM」を活用し、独自の編集ツールにより半透明なマーカーを不可することで紙と電子コンテンツの紐付けを実現している。





具体的なサービス内容としては、まず、販促品などの企画、制作、印刷を行っている企業に対して、紙面上の場所とリンク先の情報を指定するだけで紙とマルチメディアを簡単に結びつけることができるツールを提供する。これより、利用企業は今までの制作フローを大きく変更することなく、印刷データ（PDFデータ）とインターネットにつながったパソコン、そして出力する印刷機さえあれば、その場で簡単にマルチメディアを活用した印刷物を制作でき、対象の業務コンテンツに合わせて、紙とマルチメディア

を融合させコミュニケーションが可能となる。一方、スマートフォンユーザーに向けては、印刷物を撮影して動画やWebを閲覧するための専用アプリを提供する。

このアプリによって、例えば、印刷されたレストランのメニューから素材の情報やレシピの動画を閲覧したり商品カタログ、チラシなどの紙面から商品紹介映像などを閲覧することができるという。

研修会終了後、横浜中華街「招福門」において懇親会を開催し、24名が参加した。



横浜会場案内図



平成 25 年度 千代田区商工業連合会定時総会

平成 25 年 6 月 4 日(火)
午後 5 時よりメトロポリタンエドモンド 2 階
「薫風」において第 50
回定時総会を開催した。
定刻となり、岩岡理事
の司会により、始めに
米倉会長の挨拶の後、
会長が議長となり議事
を進行し、平成 24 年度
事業報告並びに平成



▲ 米倉会長（総会議長）



25 年度事業計画案及び予算案を原案どおり
全会一致にて可決承認された。
議事終了後に、広報委員会、イベント推進委
員会、農商工委員会、ブランド委員会の順
に活動報告があり 5 時 55 分隣室 2 階「波光
の間」へ移動する。
総会懇親会に先立ち恒例となった更科理事
によるプロジェクターを使って商工連の活
動状況をアピール。

ご来賓では石川雅己千代田区長はじめ自民
党都連幹事長、内田茂様や衆議院議員・
民主党代表 海江田万里様、山田美樹様及び
参議院議員 竹谷としこ様等多数のご祝辞を
頂戴した。

懇親会は、区議会議員団、各商工関係代表者
等の方々と和やかに歓談され午後 7 時 45 分
に角田理事恒例の一本締めにて散会した。
梅雨とは名ばかりの晴天の暑き中、著名人多
数のご出席を頂き、日増しに商工連が発展し
ていることを実感させられた一日であった。



▲ 石川雅己 千代田区長



▲ 内田茂 自民党都連幹事長



▲ 海江田万里 衆議院議員

第1回 顧問・相談役会



平成 25 年 5 月 27 日 (月)、午後 6 時より九段下にある「寿白」において本年度第 1 回の顧問・相談役会を開催、現執行部の活動方針など熱心な討議が行われた。

大西副支部長の司会進行にて山本支部長が挨拶の後、下谷顧問より「先の総会終了後にブランド研修において若い社員達が成果発表をしました。今の執行部の大変すばらし

い支部運営と活動に感謝しています。」とのお褒めの言葉を頂戴し乾杯の発声となった。

(出席者)

新村顧問、下谷顧問、小林顧問、新村相談役、青木相談役、水上相談役、佐野相談役、山本支部長、斎田副支部長、大西副支部長、前田副支部長、金子副支部長、磯崎副支部長



第3回 全体役員会開催

5月9日(木)、午前11時半千代田印刷会館2階会議室において第3回全体役員会を開催、18名の常任役員、相談役、執行部の参加のもと開催された。主に支部連絡網整備に関する件や、災害時における帰宅困難者受入れに関するアンケート結果など話し合われた。



▲ 総会前の資料報告



千代田支部厚生事業 プロ野球観戦（巨人対日本ハム）

6月5日(水)午後6時より東京ドームにおいて支部厚生事業「プロ野球観戦」、巨人対日本ハムの好カードに、本年も応募者が多数集まり、抽選にて120名の方にチケットを配布した。当日の試合は1-1で迎えた延長11回、巨人の坂本と阿部の連打で2・3塁となり、代打小笠原が2年ぶりの劇的サヨナラ3ランホームランにファンは総立ちで声援を送り、4対1で巨人が快勝した。

今年は昨年より20席の枠を増やしましたが、好評の為、当分この企画は続きそうである。

第 1 回 常任役員会開催

7月11日(木)、午後17時半より平成25年度第1回常任役員会を開催。今回は学士会館201号室にて、研修会の件、厚生事業の暑気払いや10月5日のバスツアー、及び千代田

印刷人ゴルフ大会の件、千代田区との帰宅困難者等の受入れに関するアンケート結果など話し合わせ終了後、会館のピアホールにて懇親会となった。16名の参加者であった。



大規模災害時における帰宅困難者等受入に関する協定実施細目

帰宅困難者等受入場所

社 名	代表者名	避難収容		
		帰宅困難者の一時収容		トイレの使用
岩岡印刷工業(株)	岩岡 正哲	8 m ² (事業所内)	2 名	1 ヶ所 (事業所内)
(株)加藤文明社	加藤 純男	220 m ² (事業所内)	133 名	2 ヶ所 (事業所内)
大和総合印刷所(株)	金子 雅明	24 m ² (事業所内)	14 名	2 ヶ所 (事業所内)
東洋美術印刷(株)	山本 久喜	40.5 m ² (別館: 飯田橋 4-7-4)	24 名	1 ヶ所 (別館: 飯田橋 4-7-4)
パラシュート(株)	花井 秀勝	38 m ² (事業所内)	23 名	1 ヶ所 (事業所内)
錦明印刷(株)	塚田 司郎	100 m ² (事業所 7 階)	60 名	4 ヶ所 (事業所内)
千代田オフセット(株)	佐野 栄二	30 m ² (事業所内)	18 名	2 ヶ所 (事業所内)
富士印刷(株)	秋元 裕	60 m ² (事業所内)	36 名	2 ヶ所 (事業所内)
亜細亜印刷(株)東京支社	箕輪 泉	30 m ² (事業所内)	18 名	4 ヶ所 (事業所内)
(株)コムラ東京支店	鴻村 健司	8 m ² (事業所内)	5 名	1 ヶ所 (事業所内)
(株)山愛	山下 裕己	48 m ² (事業所内)	29 名	
三和印刷(株)	米田 英二	140 m ² (事業所内)	84 名	7 ヶ所 (事業所内)
大晃印刷(株)	喜多 常夫	16.5 m ² (事業所内)	10 名	1 ヶ所 (事業所内)
松田印刷(株)	松田 弘文	30 m ² (事業所内)	18 名	

帰宅困難者用備蓄物資保管場所

社 名	代表者名	電話番号	備蓄物資(帰宅困難者救援用)の保管
東洋美術印刷(株)	山本 久喜	03-3265-3075	5 m ² (別館: 飯田橋 4-7-4)
パラシュート(株)	花井 秀勝	03-5212-2466	15 m ² (事業所内)
千代田オフセット(株)	佐野 栄二	03-3291-7500	3 m ² (事業所内)
亜細亜印刷(株)東京支社	箕輪 泉	03-5297-3300	5 m ² (事業所内)
大晃印刷(株)	喜多 常夫	03-5948-5510	可能 (事業所内又は 1F 駐車場)

連絡先

千代田区役所 環境安全部防災・危機管理課	東京都千代田区九段南一丁目2番1号	03-5211-4187
東洋美術印刷(株) 山本 久喜	千代田区飯田橋四丁目6番2号	03-3265-3075



暑気払い懇親会 — 放心亭 —

千代田支部恒例の「暑気払い懇親会」は本年も 8 月 28 日 (水) 午後 6 時半より 欧風ビュッフェレストラン「放心亭」において開催され、69 名が参加した。始めに山本支部長より挨拶。司会の大西副支部長より秋の厚生事業「三浦市・三崎、城ヶ島観光」の案内があり、佐野相談役の乾杯にて開宴となった。





山櫻

ここで見つかる。"出逢い"をつなぐグッドアイデア

株式会社 山櫻 神田オフィス
千代田区三崎町 3 丁目 2 番 8 号
TEL : 03-5210-6080 (代)

二葉紙業株式会社

〒101-0051
東京都千代田区神田神保町 3 の 27
電 話 03 (3265) 6151 代表

Sakurai

枚葉オフセット印刷機 は、
自動スクリーン印刷機

(株) 桜井グラフィックシステムズ
〒135-0032 東京都江東区福住 2 丁目 2 番 9 号
電話 03(3643)1131 (大代表)

四国紙商事株式会社

東京都千代田区内神田1-13-7 〒101-0047
TEL(03)3293-4591 FAX(03)3293-3284
営業所 城東(墨田)城北(中野)城南(大田)平塚(神奈川)

SCREEN
MEDIA TECHNOLOGY

株式会社 メディアテクノロジー ジャパン
MEDIA TECHNOLOGY JAPAN CO., LTD.
東京都千代田区九段南2-3-14
☎03-3237-3124

DIC グラフィックス株式会社

〒101-0063 東京都千代田区神田淡路町2-101
ワテラスタワー
電話 03-6733-5059
<http://www.dic-graphics.co.jp/>

FUJIFILM

富士フイルムグローバルグラフィックシステムズ株式会社

ホームページ <http://ffgs.fujifilm.co.jp>

TOYOINK

Visible Science for Life

— 目に見える科学で生活に貢献する —

東洋インキ株式会社
〒104-8378 東京都中央区京橋 2-7-19
TEL: 03-3272-3435 www.toyoink.jp

(株) 小森コーポレーション

<http://www.komori.co.jp>
本社 東京都墨田区吾妻橋3-11-1 〒130-8666
TEL 03-5608-7803 ~ 8 (営業直通)

人から人へ心を伝える

www.heart-group.co.jp

各種紙製品

名刺 封筒
カード はがき

東京支店 101-0054 東京都千代田区神田錦町3-2
TEL 03-3518-0311 FAX 03-3518-0321

紙を見たら「竹尾」と書いてください。

株式会社 竹尾
TEL(03)3292-3611 大代

千代田洋紙株式会社

代表取締役社長 瀬川治紀

101-0051 東京都千代田区神田錦町 3-11
TEL.03(3293)1411 (代)